

調査概要

校長調査・教員調査

- 調査テーマ 新教育課程全面実施初年度(2011年度)の1学期における小学校の取り組みと学習指導の実態
- 調査方法 郵送法による質問紙調査
- 調査時期 2011年6月～7月
- 調査対象 全国の公立小学校の校長および教員
 校長245名(配布数1,000通、回収率24.5%)
 教員868名(配布数6,000通、回収率14.5%)
※抽出方法…全国の公立小学校のリストより、都道府県の教員数に応じた抽出確率で無作為に学校を抽出。校長調査は、校長に回答を依頼した。教員調査は、学級担任をしている教員のうち年齢、性別、担当学年を考慮した各学校6名の教員の抽出を校長に依頼した。

- 調査項目 **【校長調査】**
 年間授業日数／年間授業時数／時間割の工夫／教育課程内・外の取り組み／少人数指導など／校内研修／教員の指導力への評価／新学習指導要領で大切にしたいこと・課題／震災の影響・指導上の配慮 など

- 【教員調査】**
 「習得」「活用」、言語活動への心がけ／思考力・判断力・表現力等の育成にかかわる学習活動への心がけ／年間指導計画の実施状況／教科書について／「習得」「活用」、言語活動の実施への不安／放課後の補習／宿題・家庭学習指導／新学習指導要領による児童の変化／悩み／新学習指導要領で大切にしたいこと・児童に育てたい力・課題／震災の影響・指導上の配慮 など

保護者調査

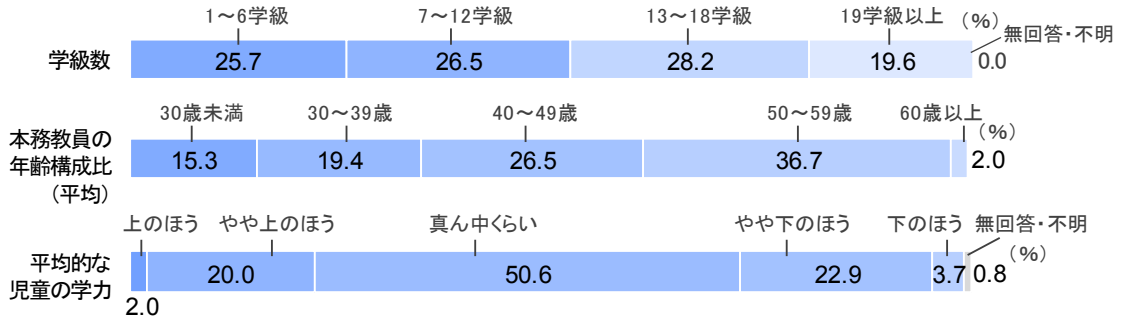
- 調査テーマ 新教育課程全面実施初年度(2011年度)の1学期についての保護者の実態と意識
- 調査方法 インターネット調査
- 調査時期 2011年9月～10月
- 調査対象 全国の公立小学校1年生～6年生の子どもをもつ母親 7,440名＝1,240名×6学年
※調査対象について…約191万名のモニター母集団のうち、子どもをもつ既婚者(25歳～50歳)約20万名に対して予備調査を実施。このうち、公立小学校1年生～6年生の子どもをもつ母親にアンケートの協力を依頼。学年、子どもの性別、母親の就業状況ごとに、必要なサンプルが集まった時点で調査を終了した。
※母親の就業状況の比率は、国立社会保障・人口問題研究所「第4回全国家庭動向調査」(2008年)の結果をもとに算出し、常勤：パート・フリー：専業主婦＝25：35：40に設定した。
- 調査項目 新学習指導要領の認知／1学期の授業について／1学期の宿題・家庭学習／1学期の子どもの学習へのかかわり・負担感／学校への期待・満足度 など

[表記および分析にあたって]

- ・基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習を「習得」、各教科等の指導の中で知識・技能を活用する学習を「活用」、教科等を横断した課題解決的な学習や探究的な活動を「探究」と表記している。
- ・【教員調査】国語、算数は、1年生～6年生の学級担任のうち、その教科を担当している教員を母数としている(国語846名、算数849名)。社会、理科は、3年生～6年生の学級担任のうち、その教科を担当している教員を母数としている(社会524名、理科412名)。
- ・【保護者調査】保護者に1学期のことをたずねた質問において、2学期制の学校の場合は、夏休み前までのことを回答してもらった。
- ・本冊子で使用している百分比(%)は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数点第2位を四捨五入して表示している。四捨五入の結果、数値の和が100にならない場合がある。

基本属性

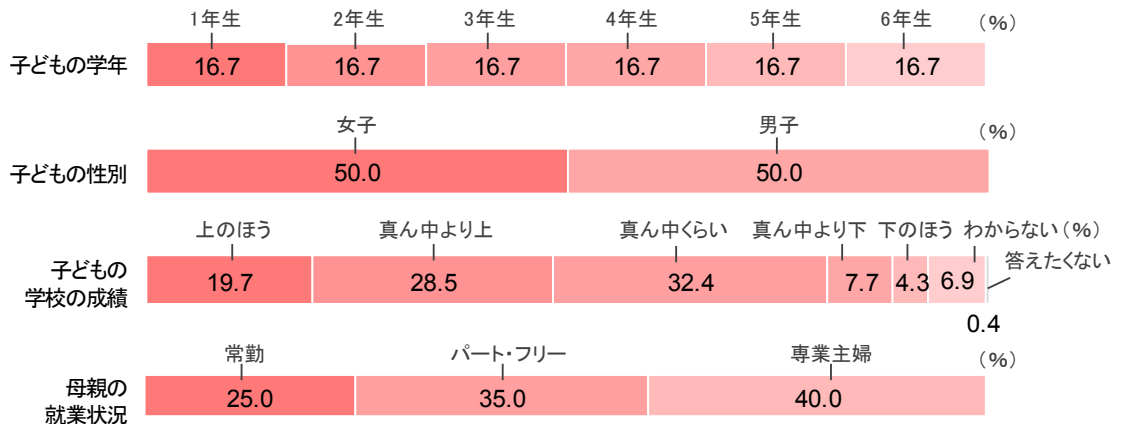
学校属性



教員属性



保護者属性



※学校属性は校長の回答。教員属性、保護者属性は、それぞれ教員、保護者の回答。

※「本務教員の年齢構成比(平均)」は、学校ごとに本務教員に占める各年齢層の教員の比率を算出し、それを平均したもの(n=239)。

※「平均的な児童の学力」は、「貴校の平均的な児童の学力は、全国の公立小学校の中でだいたいどれくらいですか」への回答。